京城日報 朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

屋根はある『歐洲要塞』
獨防空鐵壁、ル教書の欺瞞暴露

【ブエノスアイレス十九日同盟】ルーズベルトは十七日の特別教書において『ヒトラー總統は歐洲要塞に屋根をかけることを忘れた』と述べ、今後反樞軸側が歐洲に對する爆擊を強化することを仄めかしたが、スイス電報通信社のロンドン特電によれば最近ドイツ軍の防空陣が著しく強化され反樞軸側の爆擊機は一頓挫を來すに至つたと傳へられる、最近ベルリン市その他に對する反樞軸空軍の爆擊が殆ど停頓するに至つたのは主として以上の實情に基くと解されるが右ロンドン電報は英國の航空雜誌『エアロプレーン』を引用次の通り述べてゐる

歐洲に對する英空の戰略的爆擊は今や重大な危機に近づくに至つた、ドイツ軍は第一に電波探知器の改善ならびに信號組織の改善、第二に夜間戰闘機の戰術的活用により頓に防空陣を強化した、さらにドイツ軍は八月以來特殊の照明彈を用ひて暗闇をなくしてしまひ、空中戰の戰場を晝間同樣明るくする新戰術に出てゐる、エアロプレーン誌の報道によればドイツ軍は又照明器をも使用してゐると傳へられるが、攻擊する爆擊機の機關銃射手達も敵の照明器によつて敵の所在を發見することが出來る點で照明器は『もろ刃の劍』のやうなものだ、しかし爆擊機は重機を裝備してゐるだけなのに反し、ドイツ軍戰闘機は加農砲を裝備してゐるので、ドイツ軍にとつては照明器が有利な譯で、今や空中戰に關する攻守双方の競爭が新たな段階に到達したが現在では守る方に幾分歩があるやうだ

この日飛ぶ半島愛國の翼
第四回航空日

敵愾心籠る十一機
きのふ獻納愛國機命名式擧行

熾烈なる大空の決戰場に敵愾の意氣も高く鐵血を注いで強大なる敵航空陣を摧擊し赫々の戰果を輝かしてゐるとき意義深き第四回航空日を迎へて京城飛行場で廿日午後一時から半島の赤誠あふれる獻納愛國機の命名式が嚴肅盛大に擧行された

式場には板垣朝鮮軍司令官、井原軍參謀長以下將星、來賓小磯總督代理田中政務總監、高京畿道知事以下官民多數參列、一般席は各學校生徒、各種團體三萬餘場を埋め、南面の祭壇に對す、獻納者席には朝鮮軍…長以下代表が威儀を正して參着、式は國民儀禮に始まり竹島稻荷宮司々祭のもとに、修祓、伶人奏樂の裡を招神の儀あり、獻饌、齋主祝詞奏上、續いて颯爽たる新鋭航空機の清祓が行はれ、獻納者朝鮮國防…小寶人協會代表伊藤泰吉氏、京城黃金町高居億一氏、朝鮮青年團長大野謙一氏、鐘淵紡系事業社津田信吾氏(代)、朝鮮石油代表木村清三郎氏、始興郡守小野厲吉氏、…義雄氏等それぞれ陸軍大臣代理板垣軍司令官の前に進んで獻納の辭を述べ感謝狀を受けた、次いで板垣軍司令官から晉比則ち『朝鮮…第一號』『京城號』…の如く命名し陸軍大臣…中政務總監、高京畿道知事、李王職長官それぞれ玉串を奉奠、再び奏樂の裡を昇神の儀あつて神事はここに嚴肅莊重に終了した

續いて山本大尉以下十名の操縦する愛國機の前に進み出た永登浦國民學校一年生三組藏本郁彦君(七つ)と又新國民學校一年生福田英子ちやん(七つ)がそれぞれ可愛い元氣一杯に聲をしぼつて

荒鷲の目出度い名がつけられました、強い兵隊さんが澤山の爆彈を積んで敵アメリカやイギリスをうち破つて下さい、立派な手柄を樹てゝ下さい

と壯途を祝しての言葉に滿場は拍手をもつて應へる、續いて委員長井原軍參謀長から挨拶あり板垣軍司令官の發聲で萬歳を三唱、終つて壯途を祝された愛國機十一機は飛行場上空に颯爽と飛び立ち各種高等飛行が演ぜられ一齊に放たれた祝鳩は會場上空をしばらくは…固く決意を傾けての命名式〝航空決戰必勝〟の信念ここに〝祭典〟は餘後の決意を振起したのである

【寫眞(上)獻納式(下)獻納機の高等飛行】檢閲濟

二百數十機を邀へ
猛然廿二機を擊墜
敵ギルバート諸島來襲

大本營發表(九月二十日十六時) 九月十八日深更より同十九日早朝にかけ敵機延二百數十機ギルバート諸島タラワ島、マキン島及びナウル島に來襲せしが、所在部隊は其の二十二機を擊墜せり、我方地上施設並に人員に多少の損害あり

防備微動だもせず
敵の足場はフナフチ島

【東京電話】過ぐるケベツク會談以來反樞軸軍は新たなる太平洋反攻を呼號しつゝ一方において航空母艦を基幹とする有力なる海上機動部隊の整備に鋭意努力するとともに太平洋の戰略的各島嶼に航空基地、補助航空基地、空軍補給基地などの强化を實施して來たが、殊に南太平洋々心サモア群島の北方約百浬にあるエリス諸島のフナフチ島方面に對しては數百浬、北方にわが內南洋やルートがあるため直接これを衝くべく强力に各種施設を增强する傾向にあつたので同方面所在のわが部隊はこれを嚴重監視しつゝあつた

すでに大東亞戰爭以來わが海鷲或は艦艇部隊はフナフチ島に對し有效なる攻擊を加へてその企圖を粉碎したが今次も敵米軍は去る九月一日の南鳥島來襲と呼應しフナフチ島を足場に南方からわが內南洋各地を爆擊せんと動きを見せ、まづ十八日深更より十九日早朝にわたり延機二百數十機以上の戰爆連合の編隊をもつて赤道南北に跨るギルバート諸島のタラワ島マキン島およびナウル島に來襲した、來襲機種はB24コンソリデーテツド、G36グラマン戰闘機その他であるが、同方面のわが海鷲部隊はたゞちにこれを邀擊、地上部隊の對空砲火これに協力その約一割に當る廿二機を擊墜した、ギルバート島の防備は微動だもしない

七提督參內

【東京電話】洋上第一線に赫々たる武勳を樹ててこのほど歸還した岩村清一、田結穰、堀內茂禮各海軍中將、西尾秀彥、市丸利之助、石崎昇、石川信吾各海軍少將の七提督は二十日朝相次いで宮中に參內、畏くも

天皇陛下には午前十時表御座所に出御、一同に親しく拜謁仰せつけられて天機麗しく入御、岩村中將は次いで御內儀に參進、皇后陛下に拜謁仰せつけられ、恐懼御前を退下した、さらに一同は南溜間に參進、祝酒を拜受、恩召に恐懼しつゝ宮中を退下した、なほ畏き邊りではこの日御慰勞の思召をもつて岩村中將に御紋附木盃一組ならびに金一封を、田結中將および西尾、市丸、石崎、石川各少將に御紋附木盃をそれぞれ下賜あらせられ、篤くその勞を犒はせられた

社說 麥の適期播種を忘るな

早場米の取入れを既に終つたところもあり、これからのところもあり全鮮一樣ではないが、農村は今や增產一路に邁進途の手でも借りたい程の忙しさである。刈入れ、脫穀、乾燥調整等々仕事が後から後からと追ひかけてくる。この多忙のため麥播きの準備が行き屆かず適期播種を逸して狼狽するのが半島農村の常例となつてゐる。昨年は脫穀調整に少し身を入れ過ぎて麥の適期播種を逸し麥の減收を來した。今年はそんなことのないやう稻の刈入れと同時に麥の適期播種に萬全の準備と努力を傾注することを切望する。本府や各道の指導者が機會ある每に督勵指導してゐるやうに農作特に米及び麥類の增產は適期播種、多過ぎる程の堆肥細入れ、除草、害虫驅除、適期刈取りの如何に懸つてゐる。今年の稻作にしても適期植付けを完了したところはその後の天候の如何に關せず概して良く平年作或は豐作を豫想されてゐるところが勘くない。

本府ではさきに麥類增產を目指し指導要綱を各農家に示達したが、その重點は要するに適期播種である。適期に播いた麥は優に二割は確實に增收することが出來るのである、そのためには裏作の場合は、稻の刈入れを出來る限り早くし、脫穀調整を後廻しにして耕起整地をし播種すべきで、若しも手不足のため整地をなす餘裕のない場合は、不整地のまゝでもいゝから一日も速かに播種すべきである。何を措いても先づ速かに播種をすべきである。これが麥增產の祕訣である。從來適期播種をなし得なかつたのは半島農民の作物に對する知識の缺如、習慣等並にこれを是正すべき指導陣の熱の足らざること等によるものであるが更に大切なことは半島の婦人は働かぬと言つて非難し乍ら彼女等を喜んで野良に出て働けるやうな指導、施設を十分にしてゐなかつたところに原因がある。卽ち婦人勞働力の活用を忘れてゐたからである。ここに於いて農繁期に於ける農村勞力の總動員、特に婦人勞働力の總蹶起方策として託兒所問題が焦眉の急となつて來る。今年の田植時以來託兒所が眞劍に取り上げられつゝあるが、銃後半島の負荷に應へ米麥增產を確保する基礎的施設として未だしの感がある。當局の指導、農民のこれに對する協力が望ましい。

夏秋繭の責任供出

夏秋繭は北鮮をはじめ中鮮地方は漸く出廻期に入り、關係機關が總動員で必死になつて指導督勵に當つてゐる。各地の情報を綜合するに豫期の收繭は可成り困難なりとの實情にある。卽ち稚蠶、中蠶兩期を通じ雨量多く桑の伸びが思はしくなかつたこと、比較的高溫が續いたため蠶虫の發育不良なりしため等が減作不良の原因である。しかし蠶繭は今やかつての如き贅澤品でもなければ又平和產業でもない。直ちに敵擊滅に繋がる軍需品であり軍需産業である。軍は一億萬貫確保を希望し物動物資に迄指定したのである。是非とも豫定數量は確保せねばならぬ。蠶繭は作柄は可成りの出來であつたに拘らず指導陣、養蠶家の協力の何れか、或は兩方に今ひと踏ん張りの力が足らなかつたため百七十三萬貫の責任供出量に對し百五十二萬三千餘貫卽ち廿萬貫餘の不足を來し僅かに忠南、平南北の三道のみが責任量突破をなしたと言ふ不成績振りであつた。故に夏秋蠶に於いては責任供出量九十二萬貫は勿論、慾を言へば春の廿萬貫を加へた百十二萬貫の供出が望ましいのである。しかし前述の如く作柄必ずしも順調でないのであるからそれは無理として最も責任量だけは是非とも確保して貰ひたいものだ。本紙に運載した蠶業お國自慢によつて明かになつたやうに全鮮に於ける蠶業熱は戰局の進展に伴ひ急激に昂まりつゝある『折角の繭を手ぬかりのため全滅させたのはお國のため申譯ない。來春は必ず倍にする』と郡廳に斷りに來た老媼もある。部落每に座談會を開き養蠶の徹底を期し、供出目標を部落別、個人別に作り供出量は部落の共同責任にしてゐる所も尠くない。蠶繭は兵器なりのとこの認識、この熱意、我等は供出成績の好調を期して待つことにする。

海鷲ブロックス・クリーク猛爆

【南太平洋〇〇基地二十日同盟】帝國海軍航空部隊は九月十八日深更より十九日未明にかけて三回にわたつて濠洲北部の要衝ブロックス・クリークの敵飛行場および附近軍事諸施設を爆擊、その八ケ所を炎上せしめた、うち一ケ所は大火災を起したがわが方は無事歸還した

敵海上トラック二隻擊沈破

【南太平洋〇〇基地廿日同盟】帝國海軍航空部隊は十八日晝間のベラベラ島ピロアにおいて敵船舶群を發見、直ちにこれを急襲し船舶直衞の敵戰闘機廿機の抵抗を排除しつゝ果敢な爆擊を加へ、海上トラック一隻を擊沈、同一隻に火災を生ぜしめ、戰闘機三機を擊墜したが、わが方未歸還四機の尊い犧牲を出した

【リスボン十九日同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は十九日の戰況公報で日本航空部隊が十九日未明ブロックス・クリークに爆擊を加へた旨發表した

敵船五隻を擊沈破
陸鷲、巴東(宜昌西方)を急襲

【〇〇基地十九日同盟】わが陸軍急降下爆擊機隊は十七日揚子江上流の巴東(宜昌西方約百十キロ)附近を急襲、敵軍用船舶を攻擊左の戰果を收めた

一千トン級一隻大破炎上、七百トン級一隻粉碎擊沈、四百トン級一隻擊沈、同一隻中破、二百トン級一隻擊沈、計擊沈三隻、擊破二隻

しかしてこの日陸鷲は果敢にも殆ど垂直に屹立する一千メートルに及ぶ兩岸の絕壁の間を擦りもすれすれの危險を冒して降下り、岸壁の襞の中にもぐり込む敵艦目がけて投彈しては上昇するといふ巧妙にして豪膽極まる放れ業を演じたものである、わが精鋭陸鷲にしてはじめてよく收め得た赫々の戰果であり、重慶は虎の子の船舶を大量に傷めつけられて深刻な打擊を蒙つたわけである

本府來年度豫算案作成進む

朝鮮總督府特別會計十九年度豫算案の作成については既に各局より要求書提出を終り、說明もほゞ完了したので、本年度よりはじめて財務局の豫算統制部(?)に基く統制を行ふかたはら財務局に於て愈々十月早々査定に入り同中旬までには査定を終り同月中に大藏省に提出の豫定である、また十九年度豫算統制大綱に基く閣議先議決定事項は既に財務局において取纏めを終つたので數日中に決裁を經て企畫院に提出する

守らん『わが聖土』
防空監視哨演錬開幕

【東京電話】敵米英の執拗な空襲企圖からわが聖土を護り通すため日夜敵機監視の第一線に挺身する民防空監視哨員の監視ならびに通信能力を演錬し、これが向上をはかるとともに軍防空に卽應せしめる目的をもつて東部軍司令部が主催する同軍管下各都縣選拔監視員の昭和十八年度民防空監視演錬大會は第四回航空日の廿日午前八時から千葉縣習志野原頭において東部軍參謀長辰巳榮一少將を委員長として擧行された、參加者は東京都をはじめ神奈川、千葉、埼玉、山梨、栃木、群馬、茨城、福島、宮城、新潟、富山、長野、石川の一都十三縣各五名づつの優秀監視員計七十名でそれぞれの都縣警防課々員に引率されて參集、定刻委員長辰巳少將が東部軍司令官の訓示を代讀し、いよいよ演錬の幕を切つて落した

參加監視員はいづれも國民服または青年學校訓練服を着用、戰闘帽に卷脚絆も凜々しく双眼鏡を携帶してゐる、まづ最初の競技は資目標による發見後高度測定競技で競技者は東部軍藤井大尉の號令一下池含附近の草原に二列橫隊に整列する、間もなく東南方の空に飛行機の爆音が聞えて來た、監視員たちは皆一樣に瞳を凝らして空を睨んでゐる、折しも遙かの空に黑一點機影が認められた、黑點は次第に大きくなつて來る、われわれの肉眼でも、それが新鋭偵察機と判別されるころすでに各監視員は物差や計算尺、手製の高度距離測定器などを取出して用意の姿勢に移る

やがて競技者の後方で觀測器を覗いでゐた應援の東部軍觀測隊兵士が『よし』と合圖をすれば、藤井大尉が『高度をはかれ』と命令する、緊張した各競技者は直ちにそれぞれ用意の測定用具で高度をはかり直距離と高低角による高度判定などの音感訓練を實施した

定表を參照して答案用紙に測定高度を記入する、かくて第一回の測定を終ると答案用紙は直ちに補助官の手で集められ審査委員のもとへ運ばれる、一度姿を消した飛行機はまたしても上空へ返飛測定が六回實施された、午前十一時質目標による高度測定競技を終了した一同は晝食を濟ますや直ちに午後の競技種目に移つた、第二番目の競技は模型飛行機を用ひて機種判別し直距離を判定するといふ難しい演錬である、全競技者は八、九名づつ八個班に分けられ、最初の八回は肉眼で、あとの四回は双眼鏡で、それぞれ機種を見分けるのである、午前中の競技で〇〇メートルの高度で飛翔中の飛行機を僅か〇〇秒で測定し鮮かな手際を見せた、各競技者は今度は草原に立つて遙か前方、右方、左方の凹地に伏せてゐる兵隊が長い竿の先につけた小さな模型飛行機を〇秒ないし〇〇秒で隱現するのを直ちにボーイングB17とかノースアメリカンB25とか判別するので、その視力と平常の訓練および勤務ぶりが如實に現はれるわけで至難な演錬ながら能力向上に役立つこと一通りなものではない

演錬は午後三時第一目の晝間競技を全部終了、一同は夕食ののち騎兵學校に赴き音盤などを利用して聽音と方向判別、爆音による高度の判定などの音感訓練を實施した

敵失一萬六千餘
獨、サレルノ作戰終り、ナポリへ

【リスボン十九日同盟】總統大本營は十九日正午の戰況公報においてサレルノ戰線におけるドイツ軍は『南部からの友軍と合流したので敵軍から離脫し戰線を短縮した』旨發表、サレルノ灘頭の激戰はこゝに一段落を告げナポリの戰ひが開始されようとしてゐる

反樞軸軍司令部の發表によれば米第五軍はサレルノ戰線の右翼において十七日以來約四哩前進しアルタヴィラに進出、さらに一哩前進してパタパリヤに達したといはれる、總統大本營の發表によればドイツ軍は前後二週間にわたるサレルノ灘頭の戰ひにおいて步兵八ケ師、戰車二ケ師を相手につぎのやうな赫々たる戰果を收めてゐる

一、反樞軸軍の死傷一萬二千(うち戰死六千)俘虜四千五百
一、鹵獲又は破碎 戰車百五十八輛、砲五十四門、迫擊砲六十二門
一、擊沈 巡洋艦三隻、驅逐艦三隻、水雷艇一隻、上陸艇十五隻、運送船九隻(合計五萬八千トン)
一、大破 巡洋艦二隻、驅逐艦四隻、上陸艇三隻、油槽船二隻、運送船一隻(三萬七千トン)

獨、サルジニヤ撤收

【ベルリン廿日同盟】總統大本營は廿一日正午『ドイツ軍が豫定の計畫に基づきサルヂニヤ島を撤收した』旨發表した

新バルカン政策示唆か
獨首腦、セルビヤ首相と會見

【ベルリン十九日同盟】總統大本營は十九日次の通り發表した

セルビヤ首相ミラン・ネデツチは十八日總統大本營においてヒ總統と會見した、右會見に先立ち同首相はドイツ外相リツベントロップと長時間に亘り會見、セルビヤ國政の將來について要談した

【ベルリン十九日同盟】ドイツ外相リツベントロップ氏は十八日總統大本營においてセルビヤ首相ミラン・ネデツチと長時間にわたつて會談を遂げ終つて同首相はさらにヒ總統とも會見したが右會見はバルカン半島に對するドイツ政府の新政策を示唆する重大意義を帶びてゐると解される、從來イタリヤ政府はバルカン半島ならびにコルシカ島、フランス南部などに對し相當强硬に領土的要求を持出し、ためにドイツ政府の歐洲新秩序工作は幾多の障碍を免れなかつたが、以上の領土的要求の本據といはれるザボイヤ王朝が事實上沒落した結果ドイツ政府は東亞における帝國政府の新秩序政策に倣ひ特にバルカン各國に對しても新たな政策を斷行するのではないかと解される

總督府辭令(十八日)

任鐵道局書記 熊倉時六
任鐵道局事務官(七) 原田敏三
同 有松貢
依願免本官(各通) 鐵道局技師 小野脩

消息

◇伊森明治氏(貯銀頭取)東上中十九日『あかつき』で歸城
◇表谷佐平氏(朝木社常務理事)廿日平北滿浦沿線へ出張

決戰航空講演の夕大盛況

烈々火を吐く親鷲 三千の聽衆たゞ熱聽

四回航空日の夜本社講堂に朝鮮國防航空團主催の『決戰航空大講演會』は空前の大盛況に終始したのである、酷烈悽愴な航空決……られ笠村陸軍大尉は颯爽と壇上に現れる【寫眞＝熱狂する聽衆と(上)笠村陸軍大尉(下)向山海軍大尉】

量には量で當れ 笠村陸軍大尉

『近代戰は航空殲滅戰に開始されこれに負けた方は逃げ、勝つた方は愈々猛威を揮ひ、しかる後若干の間をおいて地上戰鬪に移行するのである、支那事變はこの樣式で開始され最初に日本軍が徹底的に敵の航空機を削減したので航空戰においては實に行つたが現に戰つてゐる大東亞戰爭は航空殲滅戰で開始され航空殲滅戰で續けられてゐる、航空決戰は一瞬であるが、この一瞬の連續が大東亞戰爭であるのだ』

と、支那事變と大東亞戰爭における航空戰の性格の相異を明かにしたのち

『歐米國は大東亞戰直前に一萬二千機、一萬九千人の搭乘員を有してゐたが緒戰で完膚なきまでわが軍に叩かれたのに懲り航空機の劣勢を悟り大量生產に乘り出し今日では十二萬五千機と約十倍の飛行機と同じく十倍の搭乘員を有するに至つてゐる、敵は量でもつてわれを壓迫せんとしてゐるのだ、わが國はその地勢から見ても敵の各方面からの攻擊を受けることは必至である、これに應へるものはわが有力なる航空機にあるのだ、祖國日本はいまのところ質においては敵に劣つてゐるのである、だが質においては絕對不敗である、われわれは一人殘らず體當り、自爆の精神は出來てゐるのだ、この精神に量があれば或は長期戰も短期戰で片づくかもしれないのである』

と熱辯を揮へば滿堂の聽衆は手に汗して多量なる飛行機を送らんものと瞳を潮かせるのであつた

『祖國日本は資源において生產力において敵に負けないだけのものがあるのだ、たゞそれを利用してゐないのである、一部の不德漢が闇に流したりしてゐる爲である』

と、銃後の腐敗面を鋭く刺したのち

『世界の主戰場は西南太平洋にある、諸君のなかから或ひは子弟のうちから血潮を捧げて大空へ勇躍する者が一人でも多く出ることを望むものである、飛行機の機數と共に搭乘員も多く送つて貰ひたいのだ』

と、いまこの瞬間にも展開されてゐる決戰が如何に酷烈悽愴、一時の猶豫もないことがその一言一句吐き出すのであつた

偲べ前線の勞苦 向山海軍大尉

續いて向山海軍大尉が登壇

私は主として馬來方面作戰に參加した、これを具體的に區分すると十二月八日から山下先遣兵團と共にシンゴラに上陸し、二月上旬にはアナンバス諸島攻略、なほ間もなく中旬にはパレンバン攻略、三月上旬には北部スマトラ作戰、三月下旬から四月上旬にかけて印度洋作戰と併行實施せられたアンダマン諸島中ポートブレーア攻略作戰などに攻略し昨年末歸還した

ぶつ世紀の日十二月八日の前日から口を切り出す、七日の深夜私はバンヂヤン島から飛び出して馬來半島海岸までの間で索敵したがバンヂヤン島以西は天候の悪いと言語道斷でスコール突破は何回とぬ、そこで艦船から上空に向つて探照燈を一齊に照らしたが、飛行機からは探照燈以外には海も船も何も見えぬ眞暗闇だ、四機飛んだうち三機は辛ひ無事歸還、一機は着水、他の一機は對岸に衝突、山を紅に染めて散華した、さて我々は早速戰死した場所にかけつけたが、その時は操縦士、偵察員共に息切れてゐた、殊に我々の胸を打つたのは、偵察員は死の苦痛の間にも暗號書類を跡かたなく燒き捨つてある、且つ航空機の電信機には送信電波を安定させるために水晶片を使用してをるがこの水晶片……

あつたか數へ切れなかつた、一方八日シンゴラ上陸決行の豫定で、この日の對空對潜直衞は特に愼重を期せられ船團も飛行機も寸分の隙もなく闇に呑まれてつひに基地に引返へすといふ工合だつた、我々は飛行機の歸りを今か今かと待つてゐたが、爆音が耳朶を打つと同時にスコールが降りだして一寸先が判らぬ……を完全に破壞し又た電信機の電球は全部破壞してあつた、死に直面しながらなほ軍事機密を敵に渡さぬやうに處理し、その上從容として瞑目する責任觀念―これこそ七生滅賊の皇軍魂ともいふべきだ、

翌朝、私は水上機で偵察に行つたが敵は戰鬪機で來たので、死を覺悟のうへ敢闘の火花をちらしたが、速戰速歸、勝敗がつかぬので敵軍の戰鬪機のある所までひつぱり出した、陸軍戰鬪機二機が飛んで來……

したので、仇敵處分は友軍機に求めて直接基地に斷つて敵狀を詳しく報告したことがあつた、夫婦一體といふ言葉があるが第一線における陸海空の協同作戰はそれ以上の緊密さだ、尙これに劣らず協力するのは現地の日本人だ、例へば○○地の森氏などは『俺は三菱の金で生活してゐるが、併し日本あつての三菱だ』といつて三菱の仕事は全然顧みずに、皇軍の世話に大童で殊に食糧などの供給は大したものだ、又た、泰國の某大臣の夫人で日本人が居るが同夫人は現在は日本語など殆ど忘れて了つたが我々を心から迎へ自分の大邸宅を提供してくれた、このやうに戰地に於ける日本人は老若男女を問はず大東亞共榮圏建設のために一丸となつて眞摯敢闘してゐる

徵兵制に、更に海軍志願兵制の布かれた我が半島同胞も股肱の臣として帝國の干城として靑史に輝く武勳を樹てるやうお願ひします

と火を吐く熱辯を揮ひ、滿場の聽衆は感激にその〻くばかりだ、かくて多大の感銘を與へるとともに鐵火と燃える鬪魂を沸らせて、同八時半すぎ散會した

滿四十歳まで擴張 國民兵動員體制を强化

【東京電話】陸軍では昭和十六年十一月十五日兵役法施行令中改正に關する勅令を施行し昭和六年以後の徵兵受檢者にして內地合格となつた第二國民兵を兵務に召集するやう改めたが近代戰における尨大なる兵員需要充足の見地ならびに決戰下において國民皆兵、殉國挺身の觀念を一層透徹せしむるため今回さらに昭和五年以前に徵兵檢査を受けたる第二國民兵に對しても必要に應じ召集し得る如く準備するため所要の屆出をなさしむるやう廿一日附官報をもつて『兵役法施行規則および陸軍召集規則の改正の件』を公布即日施行した、右により昭和五年以前の徵兵受檢者にして滿四十歳までのもので未だ徵集されず第二國民兵役に編入せられたものもその後身體强壯となり兵員として十分活動し得るものはこれを召集、兵務に服せしめる道を拓いたもので近代戰の要請に對應する不敗の國民兵動員體制を確立すると共に併せてこの御楯として第一線に戰ふ資格を與へ多數國民の熱願に應へたものである、屆出は昭和十六年十一月、昭和六年以降に徵兵受檢者に對して要求せられたものと全く同樣で內地においては市町村長の責任において屆出をなすが左の場合は本人または戶主より屆出を要する

▲本人が屆出をなす場合(1)現に朝鮮、臺灣、關東州、滿洲國、支那、香港または澳門に在留する場合は在留地の市町村長(2)留守者に對し屆出を要す(2)現に船舶の船員たるものは船籍港所在地の市町村長または領事館の所官長(3)現に醫師、藥劑師、齒科醫師または獸醫師などの免許證を所持してゐるものは免許證寫を添へ本籍地の市町村長を經て本籍地の聯隊區司令官に屆出を要す

より屆出を要する場合、本人所在不明なる時は戶主は當該警察官吏の證明を添へ在地の市町村長に、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲國、支那、香港または澳門に在留するものは在留地の市町村長または領事館を經て陸軍兵事部長に二十一日から四日以內に屆出を要す

の屆出を正當の理由なく怠れば罰金、拘留、または科料に處せられるにつき注意を要す

慈愛籠る"激勵の餞" 總督も臨席 きのふ城大の卒業式

京城帝國大學法文學部第十六回(七十名)醫學部第十五回(五十八名)理工學部第一回(卅四名)の卒業式は廿日午前十時から本部講堂に於て小磯總督、大野政務總監、李鍝公殿下、李王職長官、高等法院長、高京畿道知事他官民多數參列のもとに擧行、この日深刻なる決戰下、學窓を巢立つ卒業生一同は一入緊張の色をその眉字に輝やかせて、國民儀禮、勅語奉讀、各學部々長からそれ〴〵卒業證書授與

篠田總長から"國家の諸君に期待するところは絕大である、諸子の一擧手一投足は國家の消長にかゝることを銘記し最高學府で研鑽した學理を基に指導者としての信念に職域に挺身してもらひたい"と慈愛溢るゝ激勵の辭を述べ

次いで小磯總督は

"本學は朝鮮に於ける唯一の最高學府にして戰時下半島道義の顯揚、產業文化の開發等一として卒業生諸子の奮鬪挺身に俟たないものはない、諸子は深く諸般の緊迫せる情勢を洞察すると共に本學で鍛錬した研究即戰鬪の精神を更張し、その蓄積した學問技術の蘊奥を決戰遂行の一點に凝集しもつて聖業達成の大道に參じその負荷した至大なる責務の完遂に努むべきである、戰力の物心兩面に亙る增强は刻下半島の最大急務で國體の本義に透徹し大東亞指導の國民たるの資質を練成し惟神の大義に基く皇道文化の恢弘、日本道義の昂揚を期するは半島戰力增强の基盤である

との趣旨の告辭を行ひ、高京畿知事の祝辭があつて卒業生代表岡野平君(理工)の感謝と決意に滿ちた答辭があり、一同"海行かば"を合唱して決戰下學園の卒業式は終了した

尙今回の卒業生就職狀況は法文學部、官廳九名、會社四十一名、滿洲國一名、大學院八名等で、醫學部は大學院卅一名、滿洲北支方面に六名、理工學部は官廳四名、教員一名、實務十九名で他の者も夫々國家緊急なる方面

爆音の響き拍手の嵐

航空のきふ日 汝矣島空前の感激譜

廿日午後京城汝矣島飛行場における半島の赤誠になる陸軍機獻納命名式典が滯りなく終ると續いてこれら獻納機の羽搏きも勇ましく式典上空に舞上つて各種高等飛行に移つた、この時少年飛行兵の編隊機も爆音の拍手を浴び歡呼の旗を脚下に眺め圓を描いてうちふる手の波が大きく搖れる、獻納十一機の快調なエンヂンが耳朶をうつ、三機又三機と米英擊滅の熱魂を浴び碧空に舞上れば武勳を祈る歡呼の豆戰士軍鳩三百羽が大空に放たれ汝矣島上空は訪問機、獻納機、軍鳩の編隊も鮮かに大きく旋回する、數萬の觀衆は齊しく大空を仰いで頼もしいわが空軍に絕對の信賴を送るのだつた、中空にこだまする爆音は米英にも轟けよと心にくきまでに快音を殘し少年飛行兵の編隊は○○基地に機首を向けた、獻納十一機の空中分列式が高度百米で行はれつゞいて隊伍堂々急降下飛行を鮮かに終つて、山下中尉機の特殊飛行が繪卷を繰ひろげること宙返り、上昇反轉、背面飛行、緩橫轉、背面上昇等々無敵空軍の飛行技術を展開すれば三萬觀衆は固唾を吞んでこれを見送つては驚嘆の喝采となるのだつた

堂々雛鷲の晴れ姿 爆音勇しく京城の空を亂舞

【○○基地にて大山特派員發】恩師よ父母よ見て下さいこの晴れ姿を、と爆音は叫びながら雛鷲は鄕土京城の空を亂舞するのだ、下を見降すと學校の運動場に『歡迎』の人文字が鮮かに浮かんで日の丸の旗が躍るのだ、京城の西北こゝは京畿中學校、今記者のすぐ隣を飛ぶ金田少年飛行兵を育くんだ懷しの母校だ、その直ぐ手前の淸雲國民校も進明高等女學校も運動場一杯に打振る日の丸の歡迎陣がはつきりと見える、編隊はこゝより分れて各自の出身校やわが家の上空に飛ぶのだ、どこもこゝも歡迎の日の丸の群が屋上に或は路上に山上に大空の雛鷲を迎へてくれる、その中にはこの大空を仰ぎ見てわが子の晴れ姿に涙する兩親もゐるであらう、そしてわが先輩に續かんとその立ち在で誓ふ若人もゐたであらう、それに應へてか機翼は左に右に大きく搖れて機首は京城の空を狹しとばかりに飛び狂ふ、若鷲とは思へぬ大膽にして堂々たる飛行ぶりだ、これぞ戰ふ日本の航空の祭典である、かくて鄕を鄕里に飾つて京城の大空を翔けると廿分餘りにして京城飛行機獻納命名式に參加して愈々午後三時機首を戾し歸隊の空についた、"御機嫌よう〳〵"と見送る家族の聲を遠しい爆音にのんで八機の編隊は飛行場を一周、飛行場の周圍を埋め盡くした歡送の人々に送られて太刀洗に敵へる半島の若鷲達は鬱黑く築いた歡送の腕に一刻も早く巢立つへる日を空に求めるその日を誓ふのだつた、編隊を組ぐ編隊は速度鋭く秋の大空を截つて飛んで行く、わが父わが母が大空にわが武勳を神かけて祈る懷しの鄕土京城は、もう顧みれども〳〵遙か向うに霞んでたゞ空海ばかりで見えない、たゞ眼下に見えるのは山と川、黃綠の稻海だけだ、八機編隊からなる堂々たる爆音は秋の大空を壓して先を競ひ一路基地へ〳〵と翼を連ねて猛りに猛つた、この空へ續け斷か向ふの雨の決戰場にはわが子飛鷲が進しない雨淚の へ突入してゐる、そして體當りで身を挺する、今決戰は空だ、空を制するものは海を制し敵を制せん、往け大空へ、讀へよ無敵の翼に祖國の運命を背負つて立つ航空日本、大空の決戰に身をなげうつ若鷲の前途に榮光あれと記者は半島の若人よ續けこの雛鷲の後へ、そして多くの搭乘員を、飛行機を、瞬時も早く大空の決戰場へ送り出さう【寫眞＝大山特派員】

抱負語る鳳雛

双肩を輝かせ高鳴る胸にはちきれる喜びを飛行服に包んで紅顏の雛鷲が颯爽と降り立つた、機翼から描いた鄕土訪問飛行、晴れの第一歩なのだ、綠の芝生を踏めた數萬の觀衆に交つてわが子、わが兄わが弟をいまか〳〵と待受ける肉親の喜びは爆發した、少年飛行兵を圍んで和かに交す言葉の中にもひたぶる大空への鬪魂が宿されてゐる、本年四月入校以來僅か六ケ月足らずにして餘りにも立派に鍛つたわが子、わが兄に喰込む歡喜の眼それに折り重なる人、人、人⑧眼【寫眞＝後援に語る月野君】

西川二郎飛行兵(杏堂町二九一)父が商工の教授してゐますので飛行兵の志願に手を擧げて喜んで具れました、今後は一日も早く技術精神共に錬成して立派な航空搭乘員となり力一杯御奉公する決心です

廣岡賢載飛行兵(下往十里七〇ノ一二)一人でも多く航空乘員になるやう只

月野鮮生飛行兵(開生町一二)京城工業の友達に闘されたた月野君は、何もいふ譯はありません、入隊以來毎日軍紀の下に毎日猛訓練をやつてをります、一日も早く立派な飛行乘員となつて米英を叩き潰しに翼を伸ばしたい一念ですと語る

昌原暢魯飛行兵(永登浦三二五)今朝○○基地を出發して京城な案外手近かな所にあるのに氣持の所爲か隨分時間がかゝつたやうに思ひました、京城の上空にさしかかつた時、自分の母校を眼下に見降して何ともいへない感激で一杯でした、今後益々健康に注意し技術を習得して一日も早く敵米英撃滅に乘出したい氣持で一杯です

氏家義朗飛行兵(本洞町五六五)何も申すことはありません、御奉公するなら飛行機だと決心しましたので少年飛行兵を志願をしたわけです今日飛行服の姿を兩親、學校の友達に見せてあまりにも嬉しくた自分の姿に自分ながら驚いてゐます最初は反對した父親も今日の私を見て安心したやうです

今學校の友達にも學校の模樣を話しました、飛行兵を志願した時兄だけが賛成しましたが兩親はなかなか許して呉れませんでしたが、然し先月歸省しましたとき反對した兩親も安心してくれました今日父に面會しましてこの飛行服姿を見て喜びました

岩邊政男飛行兵(吉野町)肉親や隣組の人々に迎へられた岩邊君は父の前に突つ立つた儘感激の一瞬が續いた、父からお前は健康かと感激こもる言葉がかなされ劇的對面だつた岩邊君は父に伴はれて古市府尹に挨拶するのだつた、父信氏は御國に捧げた子供ですからこの上は健康で御奉公出來るやう切に祈つてゐますと語るのだつた

金田光永飛行兵(崇仁町七二)少年航空兵の志願をする時親戚の中に反對するものもありましたが今日私のこの飛行姿を見てみな安心したやうですこれからは一意專心軍務に邁進し敵米英擊滅に一日も早く乘出したいと思ひます

勤勞顯功章の授與式

【東京電話】第四回航空日の廿日民間航空功勞者を表彰する初の勤勞顯功章授與式がこの日午前八時卅分遞信大臣室において擧行された、勤勞顯功章授與の榮譽に輝く森田勝人(三八)―大分縣―日航一等航空士、武藤太市(三二)―群馬縣―中華飛行機整備技師、桑島稔(四三)―埼玉縣―日航一等飛行士、加賀要助(四〇)―北海道―中華航空一等航空士(桑島、加賀兩氏缺席)氏等をはじめ來賓各位、兒玉日航社長、新井中華航空東京支店長、小松航空局長官ら出席、寺島遞相は自ら燦たる勤勞顯功章を被表彰者の右胸につけ功績を讚へる挨拶を行つたが、これに對し被表彰者を代表して森田勝人氏が力强い答辭を行ひ閉式した引續き左の十氏に對し航空勤勞章が授與された

▲岡田理平(四三―茨城縣、中華航空機機關士)▲松井勝喜(三九―滋賀縣、日航一等航空士)▲宮本正義(三八―兵庫縣同右)▲細川傳(三四―廣島縣同右)▲針生金治(四二―宮城縣同右)▲齊藤菲五(三七―茨城縣同右)▲黑木正明(三二―福島縣同右)▲金丸末義(三五―長崎縣同右)▲羽泉清一郎(四四―大阪府、日航航空機機關士)▲森六平(三九―千葉縣、日航一等航空通信士)

鈴木東大名譽教授

【東京電話】ビタミン學說の權威東大名譽教授農學博士鈴木梅太郎氏は腦溢血再發のため慶應病院に入院加療中であつたが廿日午後四時三十分逝去した、享年七十

本社寄託獻金 ―廿日扱―

國防獻金

【陸軍】▲二百圓京城府中區西四軒町一九三ノ四五故佐藤新衛▲百圓京城府龍山區三坂通一〇五市原藥弘▲百圓京城府永登浦區道林町一五〇星長禍一▲七十一圓二十八錢京城府中區三角町一〇八李彰熙▲三十圓京城府鍾路區通義町三五堀田フジ

【海軍】▲二百圓 京城府中區西四軒町一九三ノ四五佐藤新衛▲百圓京城府永登浦區道林町一五〇星長禍一

小計 八百一圓二十八錢

累計

國防獻金 九十四萬五千六百六十二圓五十六錢

恤兵金 二十五萬八千五百四十七圓十七錢

總合計 百二十萬四千二百九圓七十三錢

徵兵制施行事業資金 ―十八日扱―

▲六十四圓朝鮮通運株式會社水色作業員訓練所生三十二名

―廿日扱―

▲七十三圓京城忠靈靑年隊黑石町西分隊々員一同 累計八千九百九十圓七十錢

傷痍軍人慰問金

▲四十三圓京畿道富川郡素砂邑栢柳里二區婦人一同

夕刊　京城日報
京城府中區太平通一丁目三十一番地　發行所 合資會社京城日報社
印刷人 高宮太平　編輯兼發行人 中村（以下略）

若鷲の郷土訪問飛行＝到着の報告＝（けふ汝矣島飛行場にて）（檢閲濟）

タイ國皇帝に御祝電御發送

【東京電話】天皇陛下には二十日泰國皇帝陛下御誕辰につき同國皇帝陛下に御懇篤なる御祝電を御發送あらせられた、なほ同日目黒驛舎の同國大使館に祝賀のため御使として式部官坊城俊良伯を差遣はされ、厚く祝意を表せしめられた

朝香宮孚彦王殿下　下志津で戰技御精勵

【下志津電話】日増しに苛烈を極める戰局に孚彦王殿下には[illegible]を以て御研鑽を御勵み[illegible]、去る九日早朝[illegible]日まで下志津陸軍飛行學校に陸軍航空總監部教育部員兼陸軍航空本部教育部々員の御資格をもつて御附勤務に御精勵遊ばされてゐる、はじめての『秋の宮遊』として殿下御日課から御勤務遊ばされる殿下の御精勵ぶりを拜し一億國民は齊しくその御態度を仰ぎ奉つてゐる次第であるが、今回の御附勤務に就かせられた[illegible]

大佐に謁を賜りその他の職員將校學生に列立賜謁、終つて校長代理大佐より學校の一般概況についての御説明と午後には柳本中佐の偵察隊についての御説明を御熱心に御聽取遊ばされ、翌十八日午前は今井田中佐操縱の〇〇式偵察機に御同乘離陸、〇〇上空附近の偵察を御實施遊ばされ、午後は乙種學生の戰術を御視察あらせられた、航空記念日の廿日には出勤して演習について武田少佐の御説明を御聽取、午後は空中寫眞の御撮影を御手づから御實施あらせられる御豫定で引つゞき廿三日まで偵察隊の操縱作業を御視察遊ばされ、同日御歸京遊ばされる御豫定である、御著校以來殿下の御日常は申すも畏きことながら全く一般學生などと同樣の御食事をとらせられ專ら航空についての御研究に御精勵遊ばされてゐるのである、なほ殿下におかせられては引つゞき鉾田、濱松、明野各實施學校にそれぞれ隊附御勤務を遊ばされる御豫定

故永田軍政顧問に恩賞

【東京電話】畏き邊りでは去る十七日逝去した軍政顧問永田秀次郎氏生前の偉勳を嘉せられて戰歿の際に御沙汰あらせられ二十日同顧問の功績概要とともに陸軍省より左の如く發表された

陸軍省發表（九月廿日十一時）畏き邊りにおかせられては今般死歿せる永田軍政顧問に對しその生前の偉勳を嘉せられ左の通り恩賞の御沙汰あらせられたり

旭一　軍政顧問　永田秀次郎

永田軍政顧問功績の概要次の如し

昭和十七年一月南方方面軍軍政最高顧問の重任を拜するや老軀を挺して[illegible]の地に赴任し、その[illegible]を一身に負ひ寺内最高指揮官を輔佐し、作戰に直接して施行せられたる南方軍政の進展に偉大な貢獻をなしたり、一年有餘にわたる激務により脚氣およびマラリヤを併發するに至り、本年四月陸軍省勤務を命ぜらるゝや病なほ癒えざるに拘らず、軍政顧問の最長老としてよく大臣を輔佐し軍政の圓滑なる施行に寄與せしところ甚大なり

故永田氏餘榮

【東京電話】畏き邊りでは去る十七日逝去した陸軍省軍政顧問永田秀次郎氏に對し同氏の生前の功績を嘉せられ左の如く特旨をもつて位一級追陞の御沙汰あらせられた旨二十日宮内省から發表された

敍正三位　故從三位　永田秀次郎

特旨を以て位一級追陞せらる（十七日附）

故永田秀次郎氏の葬儀は男王秀雄伯葬儀委員長となり二十二日午後一時より午後二時まで青山齋場において佛式により[illegible]

乾坤一擲の決意　斷乎、宿敵米英擊滅

長屋朝鮮軍報道部長談話發表

第四回航空記念日を迎へ長屋朝鮮軍報道部長は二十日次の如き談話を發表し航空戰力增强の必要を强調した

南で北で　或ひはビルマにおいて敵軍の反攻は日を追ひ熾烈を極めてゐる、これに對するわれらの反擊も又、日を追ひ痛烈になり戰ひの模樣は時々刻々に悽愴化されてゐる、實に最近の敵軍の總反攻は大東亞戰爭が始まつて以來最も組織的且つ繼續された本格的大作戰であつて實に乾坤一擲の決意をもつてゐるのである、此時こそ戰爭は實に國家興亡の岐路ともいふべき眞道な決戰段階に入つた、そして特に太平洋と歐洲地域を主に戰場とする大東亞全域に於てお互の地理的關係と兵站補給の見地からお互が航空基地の攻防を重心として、航空を主體とする陸海空三昧一體の立體的決戰である事は、明確なことであつて航空兵力の持つ意義と航空作戰成否の効果は特に絶大である、征空權なくして征海權なく、從

長屋朝鮮軍報道部長

火と燃ゆる不退轉の決意

航空日の意義茲に存す

大空の戰鬪は今や實現の直前に迫する激烈苛酷、しかも慘憺な〝魂の決戰〟が繰り返されわれ等骨肉の勇士の尊い鮮血が流されてゐる、この決戰非常の秋に臨みわれ等は悲壯なる決意を胸に銘して茲に第四回〝航空日〟を迎へた〝制空權の掌握は戰爭完勝の最大要件なり〟の近代戰が包藏する鐵則をここに新思三省賞味消化しなければならない、見よ、世界各國が總力を擧げて航空戰力の充實强化に狂奔してゐる實狀を　われ等は斷じて敵國に一籌を輸することなく航空戰鬪要員の養成と航空機の大量生産確保に不退轉の決意を火と燃やさねばならぬ、航空決戰の勝敗が全戰局の勝敗の結に關つて來た事實を强調し敵に對して不敗の空軍戰力增强に一億一團となつて突進しなければならぬ、鐵鋼はいま亂打されてゐるのだ、敵米が傲岸にも放言揚言する搭載爆彈五トン、八千キロ遠距離飛行可能のボーイングB29コンソリデーテッドB32爆擊機の大量生産は如何なるわれへの威嚇と嘲笑する前に、必死もつてわれこれを超克する備を固めるべきである、航空決戰がわが半島に下達する使命とこれに應へなければならぬ負託は山積してゐる

制空權の掌握が戰勝の最大要件

しかしてこれが基底を形成する根層のものは航空知識の普及と航空機生産資材の飛躍的增强が期せられ連繫的便命の遂行は可能なのである、けふ廿日、京城を中心に全鮮に亘つて繰展げられる〝航空日〟記念行事のうちに青少年を大空に擧げねばならぬ國家の要請の真意義は學び取られるであらう、しかしより積極的に半島が荷せられたる宿題の解答が明日に殘されてゐることをも知らなければならない、それは航空機用金屬の强力なる增産と科學を一體しての航空機製造工場增設のための資本家の一大飜起である、益々敵の爆擊、敵都襲擊に飛翔する飛行機を推進する勇氣と決意を大いなる誇りをもつて半島は總力をあげて戰ひとらねばならないのである、飛行の誇りを出し、航空機の生產と相俟つてまた科學知識の動員による航空機の改良に傾注しなければならぬのもまた重要の一つである

一方半島が決戰場から斷じて一寸と雖も離脫してゐないとの認識を新たにして鐵桶の防空態勢を布かなければならない、近代航空戰はその後方擾亂に一大空襲の敢行を避けることは彼我共に至難である、されば敵の空襲に慣れることなく從身をして防衞に任じ爆擊による慘禍撲滅に挺身することなく敵愾心の發揚により不敗の鐵壁なる〝空襲鐵滅〟の確立をはからねばならぬ、とまれわれ等は世界最優秀性能の新銳機と卓拔なる操縱者、壓倒的なる攻擊能力精神を誇る飛鷲陸海荒鷲を擁してゐることを銘記するとともに〝航空日〟に際しわれ等は前線將兵の勞苦を偲び先人の偉業を傳承して斷じて航空決戰に勝つ萬般の構へを固めよう

米英兩軍の連絡成らず

【ベルリン十八日同盟】獨軍總司令部はサレルノ地區における英軍とエボリ地區の米第五軍とが相互に接觸した旨報道してゐるが、ドイツ軍當局は十八日正午右報道を否定次の通り聲明した

クラーク中將の米第五軍はサレルノ市の上陸部隊と連絡しようと必死の努力を傾倒してゐるがドイツ軍は敵軍の左右企圖を阻み今までのところ兩部隊の連絡は出來てゐない、一方イタリヤ南部から北上を企圖してゐるモンゴメリー將下の英第八軍もドイツ軍後衞部隊の抵抗により進擊が思ふに委せない實情である

伊瑞間鐵道遮斷

【ユーゴーリッヒ十九日同盟】スイス・イタリヤ兩國間の兩國鐵道連絡は十八日一齊に遮斷された

國有林野に部分林　本府の木材增產對策

近代戰に必要な木材の增產については既に緊急計畫で增產計畫を樹立し、八、九の兩月にわたつて增産運動を實施、極力木材の需要に應ぜんとしてゐるが、一方これら伐採跡地に對應する造林も亦將來の木材確保、治水等の見地より輕視すべからざる問題であるので、これが對策として各般の施策を講じてゐるが、今回新たに國有林野に部分林制度を創設することとなり、廿日附を以て別項の如き政務總監談を發表した

部分林制度とは現在國有林野中に存在する相當量の未立木地、散生地、及び伐採跡地等に對して民間造林業者をして收益分收契約により造林を行はせんとするもので、九月十八日附勅令を以て右規定を朝鮮内に施行し、且つ國有林野法に基く朝鮮國有林野部分林令を公布、廿日附を以て右に關する施行規則を發布した、本制度の要點は、部分林の存續期間を八十年とし、國と造林者との樹木の共有、收益分收歩合による持分の決定にあり、民法の規定する共有物の分割請求權を排除する等、劃期的施策である

政務總監談

政務總監談左の通り

朝鮮總督府に於ては夙に森林資源たる國有林野に對し保護機關の充實に努め伐計畫を樹立し着々其の整備改善を圖ると共に森林資源たる國有林野に對し森林令第七條の規定に基き造林貸付を爲し森林資源の增進に努むると共に他方民有林野に對しては造林獎勵金を交付し造林を獎勵して用材及燃材の增產を圖るの外更に進んで治水上緊要なる關係を有する地方に砂防工事實施計畫を樹立し之が實施に努力する等各方面に亘り之が對策を講じて參つた次第である

而して國有林野中には現在猶相當面積の未立木地、散生地及び伐採跡地等があり、これ等に對しては着々官行造林を實施しその効果の見るべきものがあるが、右官行造林計畫以外の個所に付ても時局に鑑み急速に造林を敢行するの必要あるに鑑み、今回これらの林野を對象として造林者との契約に基き收益を分收する條件にて國有林野に造林を爲さしむる所謂部分林の制度を設定することに相成つたのであるが之は一般用材及び燃料の增產を計り森林生產力の增強に更に積極的に協力あらむことを希望して已まない

右制度の内容は九月十八日附勅令第七二六號及第七二七號國有林野法中部分林に關する規定を朝鮮に施行する勅令と國有林野法に依る朝鮮國有林野部分林令に規定せらるゝ所であるが、その骨子は

一、國は造林者と其の收益を分收する契約を以て國有林野に部分林を設け得ること

二、部分林の樹木は國と造林者との共有にして其の持分は收益分收の歩合に均しきものなること

三、部分林の存續期間は八十年を限度とするも期間を更新し得ること

四、部分林の樹木に付ては民法第二百五十六條の規定に依る共有物の分割請求權を排除すること

等で、關係各方面に於ては本制度創設の趣旨を諒得せられ森林資源の培養に更に積極的に協力あらむことを希望して已まない

國民全體が近代戰爭において航空機の重要性を認識し又國民生活をすぐ戰場の大空に連結される點を自覺し萬全の方策を盡し全力を傾けて航空戰力の昂揚に必死的努力をし宿敵米英擊滅の闘志を燃やさねばならぬ

（續き）つて陸戰も海戰も有效に計畫することは不可能だといふことが出來る、大東亞戰爭に於て皇軍の收めた赫々の戰果は御稜威の下に於けるわが航空部隊の第一擊が立派に敵を爆滅して征空權を獲得、その後もその勢力を持續したからである、すべての作戰の前提となるのは空中決戰であり亦今後の作戰の勝負を收めるのも亦空軍の優劣によるのである、今や帝國は攻戰兩略の絶對優勢力の下戰爭指導權を確保し鐵桶の態勢に即應する彈力性を以て、今後の積極的作戰を準備してゐるのである、特に東亞の防衞を確保し、反擊を粉碎して力を養つた決戰の勝利を得るには航空戰力の人的亦物的の飛躍的增加を要するのである。明日の十機より今日の一機が必要である、幸に日本人はその勇敢性、機敏性或ひは才幹あり、緻密ないろ〳〵の點において皆、敵米英より遙かに優秀である、從つて今から國民全體が近代戰爭において航空機の重要性を認識し又國民生活をすぐ戰場の大空に連結される點を自覺し萬全の方策を盡し全力を傾けて航空戰力の昂揚に必死的努力をし宿敵米英擊滅の闘志を擬せねばならぬ、戰局は實に重大で、航空威力は、益々增加を要するの時、ここで第四回目の航空日を迎へるに當り若干の所懐を述べるところである

帝亞丸香港へ

【上海廿日同盟】日米交換船帝亞丸は廿日未明次の寄港地香港に向け出帆した、當地よりの乘船者はアメリカ人を筆頭にカナダ人、南米チリー人若干、中立國人若干が乘込んだが、乘船者中には有名な者は少く僅かに前チリー代理公使を勤めてゐたファン・マリーン・ーゼルおよびかつて日本軍の重慶進攻當時『重慶市街の慘禍』と題して荒唐無稽の宣傳を行つた雜誌ライフの記者カール・マイテンスなどでほかには修道尼僧の姿が多く目についた

帝亞丸上海入港

【上海十九日同盟】第二次日米居留民交換船帝亞丸は十八日夜無事上海に入港した、航海中一名の病人も出さず一同元氣である

敵飛行場を覆滅す　海鷲ガダルカナル島急襲

【南太平洋〇〇基地二十日同盟】ソロモン海域方面におけるわが海鷲は敵空軍の尨大な翼を恃みとする執拗な反攻をその都度擊摧すると共にさらに積極的に敵各基地を叩擊し、莫大な成果を收めてゐるが十八日深更より十九日未明にかけてガ・ダルカナル島の敵飛行場二箇所を急襲、敵の對空防禦砲火をくぐつて多數の命中彈を浴びせ、三箇所を炎上、うち二箇所は大火災を起した、わが方全機無事歸還した

ガ島の損害小出し發表

【ブエノスアイレス十九日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は日本軍航空部隊が先週ガダルカナル島の米軍陣地を爆擊損害を被つた旨十九日發表した

英俘虜二萬五千伊より獨本土へ

【ベルリン十九日同盟】ドイツ軍はドイツ軍がイタリヤ本土に進駐して以來、隨所に英軍俘虜收容所を發見したが、今までにドイツ軍が手に入れた英軍俘虜は二萬五千に達し、しかも大半はドイツ本國に送り込んでしまつたと傳へられる

壓倒的に捕捉殲滅　ファブバ飛行場奇襲戰談

【南太平洋戰線〇〇基地同盟】連日一瞬の休みなくパプアの空を翔けて米機必墜の戰ひを續ける〇〇基地に歸還した陸鷲〇〇隊溝口雄二大尉（山口縣）同小野綺羅少尉（栃木縣）の兩勇士が語る敵ファブバ飛行場奇襲戰談七月〇日のことだつた、わが〇〇の東南方〇〇キロの地點に許らずも發見した敵のファブバ飛行場を爆擊するため、わが戰爆の大編隊は勇躍〇〇基地を進發した、此日雲は少しあつたが快晴で絶好の爆擊日和だ、飛翔〇時間目的地は刻々眼の前に擴つてきたこのファブバ飛行場はスタンレー山系の眞中に造つたもので勿論道路は無いので兵員機材、彈藥、食糧など凡ゆるものを輸送機で空輸してゐたものだ、然も此飛行場は恰度山の中の噴火口に似て擂鉢を倒さまにした樣になつてゐた、其上に撒ひかぶさつた我が爆擊隊戰鬪隊を見て驚ろいたのは敵機だ飛立つて逃げやうにも周圍は山で天井に我ばが機がある逃るに逃られず周章狼狽するところを壓倒的に捕捉されて片端から荒鷲の好餌食となるばかり一番二番三番と飛び上つて來るものは、ことごとく爆煙の中へ叩落に叩落されたのである特に痛快の極み一機上の我が荒鷲達の心中は[illegible]して逃げようと機から飛んに荷物を投げ出してゐるのを發見した荒鷲はぐつと愛機を近づけて必死になつて懸命に操縱桿を握る敵操縱士に片手を上げて〝やるゾ〟と挨拶するや機銃はダダダツと火を吐いて敵機は白煙をのたうたせて高度〇千メートルから擂鉢の底へ真逆に墜落して行つた、そして此日の戰果はダグラス輸送機四、ピー四〇及びベルが十五機計十九機撃墜で擂鉢飛行場にあつた敵のほとんど全部を瞬時にして殲滅し全機無事歸還したのである、この日我が方の被彈機は僅か二機のみ、敵の高射砲も全然火を吐かず恐らく日本軍は容易にこの基地を發見しないと高を括つてゐた敵は我が荒鷲の突忽たる强襲に周章狼狽なすところを知らなかつたのである、〇〇に企てゝ飛び上つた敵のダグラス・デーシー三型輸送機は機體を輕く

コロンビヤ大統領辭任

【リスボン十九日同盟】コロンビヤ國メデリン放送局の報道によれば同國大統領アルフォンソ・ロペスは辭職したといはれる

消息

◇齋藤誠三氏（農林省京城食糧事務所長）新任挨拶のため廿日來社

◇橋瀨守雄氏（東亞貿易社長）華北へ出張中の處來月五日歸城

◇澁谷誠治氏（同常務）南鮮方面出張中廿日午前六時五十五分歸城

◇佐藤親政氏（同經理課長）同上